

(例)

不妊治療と仕事との両立に関する企業トップのメッセージ

不妊治療と仕事との両立のための休暇制度・両立支援制度を導入し、労働者の方が利用しやすい環境を整備するためには、上司や同僚の方の理解も得られ、制度を利用しやすい職場風土を醸成することが必要です。

そのためには、企業トップ自らが不妊治療と仕事との両立を積極的に推進していく姿勢を社内に示し、企業全体として、治療を行う労働者をサポートし、治療を行わない労働者も含めて全員が働きやすい環境整備、職場風土づくりを共に行うというメッセージを発信することが重要です。

企業トップのメッセージとしては、次のようなものが考えられます。

不妊治療と仕事との両立について

不妊治療を受ける夫婦、カップルが増加し、働きながら不妊治療を受ける方は増加傾向にあると考えられます。

我が社においても、社内アンケートや自己申告などを通して、不妊治療と仕事との両立をサポートしてほしいとの要望があることを把握しました。

以前より、子育て、家族の介護や看護、社員本人のリフレッシュのための休暇制度の導入など、働きやすい環境整備を進めてきたところです。これまでの取組の一環として、今般、不妊治療と仕事との両立を図る休暇制度を導入するとともに、従来からある短時間勤務制度を不妊治療にも利用できることにしました。

我が社としては、社員の方の様々な事情に配慮し、仕事との両立が可能な働きやすい環境整備、職場風土づくりに取り組んでいきたいと考えています。

不妊治療については、会社でオープンにしたいと考えている方も少なくありません。社員の皆さまにおかれては、治療を行っている社員のプライバシーの保護への配慮をお願いします。また、不妊治療と仕事との両立に関してハラスメントが起こることがないように留意いただくとともに、上司、同僚や後輩が不妊治療を行いながら仕事をしていることを把握された場合には、暖かいサポートをお願いします。

令和〇年〇月〇日

△△△株式会社 代表取締役社長 □□ □□